

私たちの地域の
輝く人を
ご紹介します

みんなの ふれあいひろば

小学校では図工と体育が特に好きです。図工ではねんどで形を作ることが好きです。体育は走ることが得意で、休み時間も友だちと鬼ごっこをして楽しんでいます。算数の引き算は少し苦手だけど、練習を続ける頑張り屋さんです。

家ではお手伝いも頑張っています。洗濯物を畳んだり、料理のお手伝いもしています。5歳の弟が大好きなので、2人でままごとをしたりして仲良く遊んでいます。お店で接客をする仕事に憧れているので「大きくなったら洋服屋さんになりたいです」

何でも頑張る 優しいお姉さん



〔吹浦・一本木〕
村上 琴祿 さん (小1)

4月から新しい職場で仕事をしています。専門的な用語など戸惑いもありますが、毎日進歩しているよう心がけています。

仕事や家事で余裕がないと感じるときもありますが、家族と過ごす時間を大切にしています。趣味は家族の写真を撮ること。「日々の何気ない姿を撮りためて、節目のときに冊子にして渡しています」

両親が稲作をしているので、将来は後を継ごうと考えています。「家族全員ご飯が大好きなので、農業の素晴らしさを子どもたちの世代にも伝えていきたいです」

グラウンドゴルフが 一番の楽しみ



〔広野・大淵〕
矢部 國雄 さん (82)

大阪で生まれ、小学校4年生のときに広野へ疎開してきました。70歳まで仕事を続けてきましたが、今も老人クラブの会長などを務め毎日活動的に過ごしています。

グラウンドゴルフに出会ったのは65歳を過ぎたころ。初めは楽しさが分からないと思っていましたが、本格的に始めると夢中になりました。「負けず嫌いなので、大会に出るときは練習にも力が入ります」大会で優勝カップをもらったことが一番の思い出。「心身ともに健康でいるためにも、グラウンドゴルフを続けていきたいです」

忙しいときも 家族の時間大切に



〔北平田・新青渡〕
佐藤 泰子 さん (36)

読者からのおたより



●「でんでん虫」の会があるということを知り、女性が活躍している姿にうれしくなりました。(高瀬・三ツ橋さん)

◆「でんでん虫」の皆さんの、明るくお話しする様子に周りも明るくなる対談現場でした。女性の元気な姿を見ると、家族も地域も元気になりますね。

●「千俵の会」の記事を読みました。密播と密苗など、日々進歩していることを感じました。(本橋・堀さん)

◆労働時間やコストの削減といった、規模拡大や経営の安定につながる上で重要な研修でした。生産者の皆さんの努力がおいしい米として全国に広がっていくのだと思います。

●「ふれあいひろば」の農業を始めた22歳の青年が、とても頼もしく感じました。農業を引き継ぐ人がいることに感謝です。田んぼは生きているのだから。(北平田・土門さん)

◆佐藤さんの「父のようになりたい」という言葉に、農業を通じて家族の絆を感じました。広報でも、農業の素晴らしさを発信していきます。

●自分で作ったみずみずしい大根はもちろん好きですが、葉の部分もぎざんごご飯にかけてたり、炒めて食べるのも大好きです。育てた人の特権ですね。(西荒瀬・柿崎さん)

●パプリカを今年初めて植えてみました。なかなかきれいに色がつかず、まばらでしたが採りたてはおいしく甘みがあって、形は変でも収穫出来てよるこんでいます。(八幡・阿曾さん)

◆農作物は採りたてがおいしいのはもちろんですが、自分で作ったものももっとおいしく感じますね。これまで手をかけたきた愛着が最高の調味料になります。